



写真右から飯塚 武桜川警察署長、飯泉健大朗さん、飯泉貴行さん、大塚市長、榎本 保桜川地区交通安全協会会長

**交通安全県民運動模範推進者の2人に県知事から感謝状**

4日23日、平成25年度交通安全県民運動模範推進者として飯泉貴行さん(真壁町細芝地区)、飯泉健大朗さん(真壁町亀熊地区)が、茨城県知事から感謝状を贈呈されました。これは、両氏が平成24年6月に谷貝小学校児童が登校中に車と接触し、ケガをする事故のあった翌日から、歩道が整備されるまで毎日児童と共に学校まで通学路を歩き、児童の交通安全に献身的に努めた功によるものです。現在はその効果があり、保護者など交代で子ども達が安全に通学できるよう、地域で立哨活動の輪が広がりました。

**筑輪川河川愛護会 河川功労者表彰受賞**

5月26日、東京都で、「平成26年度河川功労者表彰式」が行われ、加茂部第二地区・高幡地区・曾根地区の3行政区で構成される筑輪川河川愛護会が、河川功労者表彰を受賞しました。この表彰は、公益社団法人日本河川協会が河川に対する国民の理解を深めるために昭和24年から実施しています。今回の受賞は、同会が市内東部を流れる一級河川筑輪川で、河川沿いの除草や清掃など、河川美化に貢献するとともに、地域住民の河川環境の保全意識向上に尽力したことが認められたものです。



河川功労者表彰を代表で受賞した(写真右から)曾根区長 堀青一さん、高幡区長 奥村 昇さん、加茂部第二区長 安達啓一さん

**水戸線羽黒駅舎改築に貢献した方々へ感謝状を贈呈**



感謝状を贈呈された羽黒石材商工業協同組合 坂本代表理事(写真中央)と井上伸二下館駅長(写真左)、東大工JR水戸建築技術センター所長(写真右)



駅舎待合室の中木の絵柄をデザインし感謝状を贈呈された岩瀬真中央と、東大工JR水戸建築技術センター所長(写真右)

6月10日、水戸線羽黒駅の駅舎改築工事において、地場の特産である羽黒青糖(あじろ)を提供した羽黒石材商工業協同組合と、駅待合室内の彫刻画デザインに協力した岩瀬日本大学高等学校美術部の皆さんに対して、JR東日本水戸支社からそれぞれ感謝状が贈られました。

**JA北つくば真壁促成部 地元の農産物をPR**

5月27日、JA北つくば真壁促成部の皆さんが大塚市長を訪問し、桜川市で収穫された農産物のPRと販路拡大の協力を要望しました。訪問したのは同部部長の大塚康史さんと部会役員4人で、全国一の生産量を誇るくだまスイカや、新鮮なきゅうり・トマト、商品開発した無塩・無添加のトマトジュースを大塚市長や関係部署にPRしました。大塚部長から販路拡大の協力要望を受けた大塚市長は、「市の農業発展のために、積極的に農産物をPRしていきます」と話していました。



大塚市長(写真中央左)に、地元で収穫した新鮮な農産物をPRしたJA北つくば真壁促成部の皆さん(部長の大塚康史さん)(写真中央右)

**サイクリングイベント「2014 ツール・ド・さくらがわ」開催**

5月18日、桜川市周辺道路をコースにしたサイクリングイベント「2014 ツール・ド・さくらがわ」が開催されました。このイベントは、交通規則を守り、自分のペースで完走を目指すもので、上曽峠や稜線林道などの山岳部を含むコースや比較的平坦な道走るコースのほか、市内の史跡や名所、伝統産業をガイド付きで散策するコースがあります。当日は、初夏を思わせる晴天の中、市内外から約500人が参加し、桜川市周辺の自然環境や伝統的な町並みを楽しみながらサイクリングをしていました。



カラフルな服装で交通ルールを守りながら完走を目指す参加者の皆さん

**ナイチンゲールの精神受け継ぐ 岩瀬高校戴帽式**

6月6日、岩瀬高等学校で戴帽式が開催され、衛生看護科3年生37人がナイチンゲールの精神を受け継ぎました。厳粛な雰囲気の中で開催された式は、看護師への道を確実に歩んでいく決意と覚悟を示す儀式で、小山 茂校長からナースキャップを手渡され戴帽した生徒たちが、火をともしたキャンドルを持って、ナイチンゲール誓詞を唱えました。戴帽生を代表して梶川 楓さんが、「相手を思う気持ちを持って学び続けることで、看護の視野を広げていきます」と誓いの言葉を述べました。



ナースキャップを戴帽し、火をともしたキャンドルをもつ岩瀬高校の戴帽生たち

**つくば渓流会 ヤマメ5,000匹放流**

5月11日、つくば渓流会の会員の皆さんと一般の参加者約60人が、筑波山頂を源流とする真壁町羽鳥地内の緑あふれる渓流(みなとの)に、ヤマメの稚魚を放流しました。この事業は、つくばの自然を愛し、そこに生息する魚の保護・育成および釣り人の資質の向上を図ることを目的に、同会が約40年前から続けている事業です。当日は、5千匹の稚魚を放流。同会長の小林 茂さん(真壁町真壁地区)は、「このつくばの沢には、ヤマメの生息できる環境が残っています。この渓流環境を皆さんと見守っていききたいです」と話していました。



5,000匹のヤマメの稚魚を仕分けするつくば渓流会の皆さん

**真壁ふれあい生きいきサロン ミニ運動会開催**

6月19日、真壁体育館で、社会福祉協議会主催の「真壁ふれあい生きいきサロンミニ運動会」が開催され、真壁地区の高齢者125人が参加し、競技などを楽しみました。これは、仲間づくりを目的に開催している「ふれあい生きいきサロン」参加者を対象に、健康維持と介護予防を目的に、シルバリーハビリ体操指導士や民生委員児童委員協議会の協力のもと、実施されたものです。参加者たちは、シルバリーハビリ体操や輪投げ、バランスボール運びなどで、楽しく体を動かして、親睦を深めました。



シルバリーハビリ体操指導士のもと、ミニ運動会の準備運動をする参加者たち